

1 目指す学校

スクール・ミッション

「キャリア教育の深沢」として、キャリア教育の視点を明確にした教育活動を一層進展させることにより、生徒一人一人に社会貢献の志をはぐくみ、真に自立した社会人を育成するとともに、人権尊重の精神を涵養する学校を目指す。

スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー【生徒育成方針】

基礎・基本を身に付けさせ、主体的に考えさせる授業を行い、学校活動の全てがキャリア教育と理解する。また、規律ある生活指導を行い、人権意識を高めていく。

(2) カリキュラム・ポリシー【教育課程編成・実施方針】

習熟度別授業、少人数編授業の活用、ICT機器等の活用で言語活動の充実を通し、自主的に学ぶ環境を維持する。また、週末の課題、講習、補修を継続的に行い高い目標に立った進路実現につなげていく。

(3) アドミッション・ポリシー【生徒募集方針】

教育目標を理解し、本校を志望する目的が明確である生徒
自己実現に向けて自主的に考え、自発的・積極的に努力する生徒
礼儀やマナーを守り、身だしなみを整え、日々の授業を大切にし、意欲的に取り組む生徒
様々な検定や資格を積極的に取得しようと考えている生徒
特別活動、部活動、行事に積極的に取り組み入学後も継続して取り組む意思のある生徒

2 中期的目標とその方策

(1) 学習指導

授業を大切にし、改善に努め、生徒の主体的な学習意欲を育成する。

(2) 進路指導

系統的なキャリア教育を推進し、進路意識の啓発を図るとともに、高い目標に立った進路希望を実現する。

(3) 生活指導

生徒理解に努め、健康的で規律ある学校生活を推進し、目的意識や課題意識のある生徒を育成する。

(4) 特別活動

多様な学校行事や部活動を通して主体性や社会性を育むよう生徒を支援し、特別活動を充実させる。

(5) 学校経営

全教職員が一丸となって、深沢高校の良さや可能性は伸ばし、改善すべきところは迅速に改善

し、働きがいのある学校にする。

(6) 地域等連携

社会に求められる学校として活動し、社会に発信していくことで地域に根ざしていく。

(7) 募集・広報

地域の中での学校の存在価値が明確になるような教育活動を行う。

(8) 防災・安全

安全な環境の確保、訓練の確実な実施、自助・共助に備える。

3 今年度の取組目標

(1) 学習指導

ア 生徒理解に努め、学習状況を把握し、指導方法を工夫するため、積極的に ICT 機器を活用して個別最適な学びを実践

イ 「年間授業計画」に基づき計画的な授業実施、主体的な学習意欲の喚起、可能性及び能力の最大限の伸長

ウ 探究的な学習や体験活動等を工夫し、深い学びの実現、協働的な学びの場の充実

(2) 進路指導

ア 3年間を見通した系統的なキャリア教育計画の実践、社会的・職業的自立意識の醸成

イ 適時・適切に進路情報を提供

ウ 進路希望を実現するため、生徒一人一人に最適なデジタル技術を活用した指導内容の設定

(3) 生活指導

ア 健康かつ安全な学校生活をするための環境整備及び生徒の自己管理能力の育成

イ お互いの人権を尊重し、他者を思いやる心の育成

ウ 自主自立と規律の両立に向けた支援の実施

(4) 特別活動

ア 多様な学校行事や部活動が生徒主体となるように支援し、よりよくしていくための課題意識の育成

イ 集団活動を工夫し生徒の社会性の育成

ウ 次代を担う人材として、活気ある学校生活となるような支援の実施

(5) 学校経営

ア 経営方針の徹底による組織的対応力の更なる向上

イ 教育公務員としての高い使命感・倫理観をもち、服務規律を遵守するとともに、協働意識を向上させ、働きがいやライフ・ワーク・バランスにつながるような業務の適切な遂行

ウ 経営企画室における業務の適正化を図り、円滑な執行管理

エ DX化のより一層の推進

(6) 地域等連携

ア 地域等との連携や交流の積極的な推進

イ 大学等との連携強化

ウ 地域と自他の生命尊重を基盤とした生徒の健全育成推進

(7) 募集・広報

保護者、中学生やその保護者、地域の方々における本校の教育活動への理解促進

(8) 防災・安全

ア 安全管理の徹底

イ 安全に対する意識の向上

ウ 自助・共助の精神育成、訓練

4 今年度の取組方策

(1) 学習指導

- ・ 各種データや面談等を活用して生徒理解に努め、全授業でデジタル技術を取り入れ活用する。
- ・ 授業改善に向けて、相互授業見学の実施及び研修の全員参加、授業評価結果を活用する。
- ・ 「年間授業計画」に基づき計画的な授業実施を通じて主体的な学習意欲を喚起する。
- ・ 可能性及び能力を伸長させるため、考える場、発信する場を設定した活動を行う。
- ・ 国際教育の推進、関連事業の参加、資格取得等を指導する。

生徒の主体的な学習への取組み評価 80%以上

1、2年生の週末自宅学習時間 2時間以上 80%以上

生徒の授業満足度 90%以上

国際教育活動参加率 50%以上

(2) 進路指導

- ・ 進路指導部・学年・各分掌が連携した組織的なキャリア教育の実施及び改善を進める。
- ・ 生徒とともにデジタル技術を積極活用して、生徒の希望する進路の実現に向けた指導を行う。
- ・ インターンシップ、ボランティア活動が生徒主体の活動となるように支援、実施する。

進路決定率 100%

進路指導満足度 90%以上

インターンシップ及びボランティア活動参加率 100%

(3) 生活指導

- ・ 生徒一人一人がコンディションレポートを活用して健康管理できるように指導し、心身ともに健康的な学校生活をおくれるように支援する。
- ・ SOSの出し方教育、いじめの未然防止・早期発見・早期対応を行う。
- ・ 教育相談と特別支援教育の推進を通じて、生徒一人一人に合った支援を実施する。

コンディションレポートの活用率 100%

一日当たりのクラス平均遅刻者数 1人

専門家と連携したケース会議月 1回以上

(4) 特別活動

- ・ 生徒主体の活動の充実に向けて支援を行い、生徒会や委員会活動が活発となるように支援する。
- ・ 学校行事や部活動を通じて主体性及び社会性を育てるための活動支援を行う。
- ・ 校内美化の推進、日本の伝統文化の精神の涵養及び国際理解を促進させる。

部活動加入率 80%以上

各行事参加率 90%以上

(5) 学校経営

- ・ 企画調整会議を学校経営の中心に置き、複数での協働業務遂行を基本とし、安定かつ継続的に学校運営を行う。
- ・ 適切な生徒対応、服務規律の厳正・徹底、情報資産の厳密な管理、情報の共有化と会議の効率化、協働体制の拡充、勤務体制の確保、産業医面談と健康相談を必要に応じて実施する。
- ・ 適切かつ迅速な業務執行、計画的な事務執行により予算を有効活用する。
- ・ 対面での調整を重視しつつ、生徒一人一台端末の利用実績向上、デジタル技術の積極活用等ハイブリッドな校内業務遂行に移行する。

教職員の在校時間の適切な管理 超過勤務時間前年度比 10%減

年間年休取得 15日

一般需用費センター執行割合 70%以上

服務事故 0件

(6) 地域等連携

- ・ 学校運営連絡協議会による学校評価、PTAや同窓会との連携、奉仕活動・部活動を通じた近隣小学校・中学校及び地元商店街との積極的な交流を実施し、開かれた学校教育を行う。
- ・ 外部や地域連携と系統的なキャリア教育との一貫性を求め、改善を図りながら一人一人に合った活動となるように柔軟に支援する。

地域等との連携評価 90%以上

キャリア教育満足度 90%以上

(7) 募集・広報

- ・ 学校生活の良さが伝わるように、日常の教育活動を積極的に発信する。
- ・ 授業DVDを作成・活用し、学習状況を積極的に公開する。
- ・ 学校説明会や中学校及び塾訪問等を組織的に実施する。

中学校・塾等への訪問校数 150校以上

学校説明会への来校者数 600人以上

ホームページの更新 300回以上

(8) 防災・安全

- ・ 防災訓練や避難訓練を通じた、防災に対する校内体制整備及び環境整備を行う。
- ・ 防災訓練やセーフティ教室等において、警察や消防署等との連携を一層強化し、活動内容を見直すことで形骸化を防ぎ、生徒の防災・安全意識をより一層高める。

施設・設備の定期的な安全管理・点検の実施

安全意識の向上 90%以上